

道の駅『甘楽』との連携

～まち歩きビンゴプログラムの商品化に向けて～



帝京大学 経済学部 大下茂ゼミナール

樋口真奈美 田中岳 富岡夏実 早川ひかり 臼井薫 中村翔太 松井玲

目次

◆目的

[1]まち歩きプログラムの商品づくり

- (1)第1回まち歩きビンゴ大会での成果
- (2)第2回開催に向けて
- (3)第2回まち歩きビンゴ大会開催
- (4)第2回まち歩きビンゴ大会の成果
- (5)道の駅でのプログラム販売に向けて

[2]女子大生プロデュースお弁当企画

[3]観光まちづくりコンシェルジュのための研究

◆感想・まとめ



◆目的

甘楽町観光まちづくりプラン(平成27年3月)



道の駅からはじまる時間旅行
～歩きたくなるまち『小幡』の実現にむけて～



国土交通省 × 道の駅かんら × 大下ゼミ
連携事業



道の駅を「まち歩き観光」の玄関口として位置づけ、
地域回遊の促進を図る!!



〔1まち歩きプログラムの商品づくり〕 (1)第1回まち歩きビンゴ大会での成果

《実施日》

平成28年3月13日(日)開催

《参加人数》

120名

(小学生以下のみ)

《参加方法》

事前に申し込み



(2)第2回開催について

《第1回アンケートより》

「また参加したいですか？」→100%!!

「次開催するならいつがいいですか？」→夏休み54%



夏休みに第2回開催を計画!

《第1回と第2回の相違点》

- ①年齢制限なし
- ②コースの二分化
- ③順位づけなし
- ④事前申し込みなし
- ⑤各所の人員配置なし

第1回 まち歩きビンゴ大会

マップの番号のクイズに正解すると「かんらちゃんシール」をゲット、Wビンゴ完成を目指せ!!

10	3	13
8	道の駅 かんら	14
12	5	16

2016年3月13日

まち歩きビンゴ
道の駅かんら
まち歩き時間旅行

99	9	11	14	21
18	16	7	5	15
25	4	I 道の駅	10	12
22	8	3	17	19
99	20	23	13	26

第2回 まち歩きビンゴ大会
ダブルビンゴでゴール! 16時まで受付に帰って来てね
ビンゴナーコース 3x3マス
6個以上正解でガチャコインゲット!
スタンダードコース 5x5マス
10個以上正解でガチャコインゲット!

順位	氏名	所属	正解数
001	001	001	001
002	002	002	002
003	003	003	003
004	004	004	004
005	005	005	005
006	006	006	006
007	007	007	007
008	008	008	008
009	009	009	009
010	010	010	010
011	011	011	011
012	012	012	012
013	013	013	013
014	014	014	014
015	015	015	015
016	016	016	016
017	017	017	017
018	018	018	018
019	019	019	019
020	020	020	020
021	021	021	021
022	022	022	022
023	023	023	023
024	024	024	024
025	025	025	025
026	026	026	026
027	027	027	027
028	028	028	028
029	029	029	029
030	030	030	030

《新しい取り組み》

- ①参加費の発生
- ②ガチャガチャでの景品くじ引き
- ③ビンゴカードのパック化
- ④受付にて丸つけ



(3)第2回ビンゴ大会開催

《開催日程》

平成28年8月28日(日)

11:00~16:00(14:00受付終了)

《参加条件》

だれでも

《参加費》

100円

《コース》

2コース制 ビギナーコース(3×3マス)
スタンダードコース(5×5マス)



(4)第2回まち歩きビンゴ大会の成果

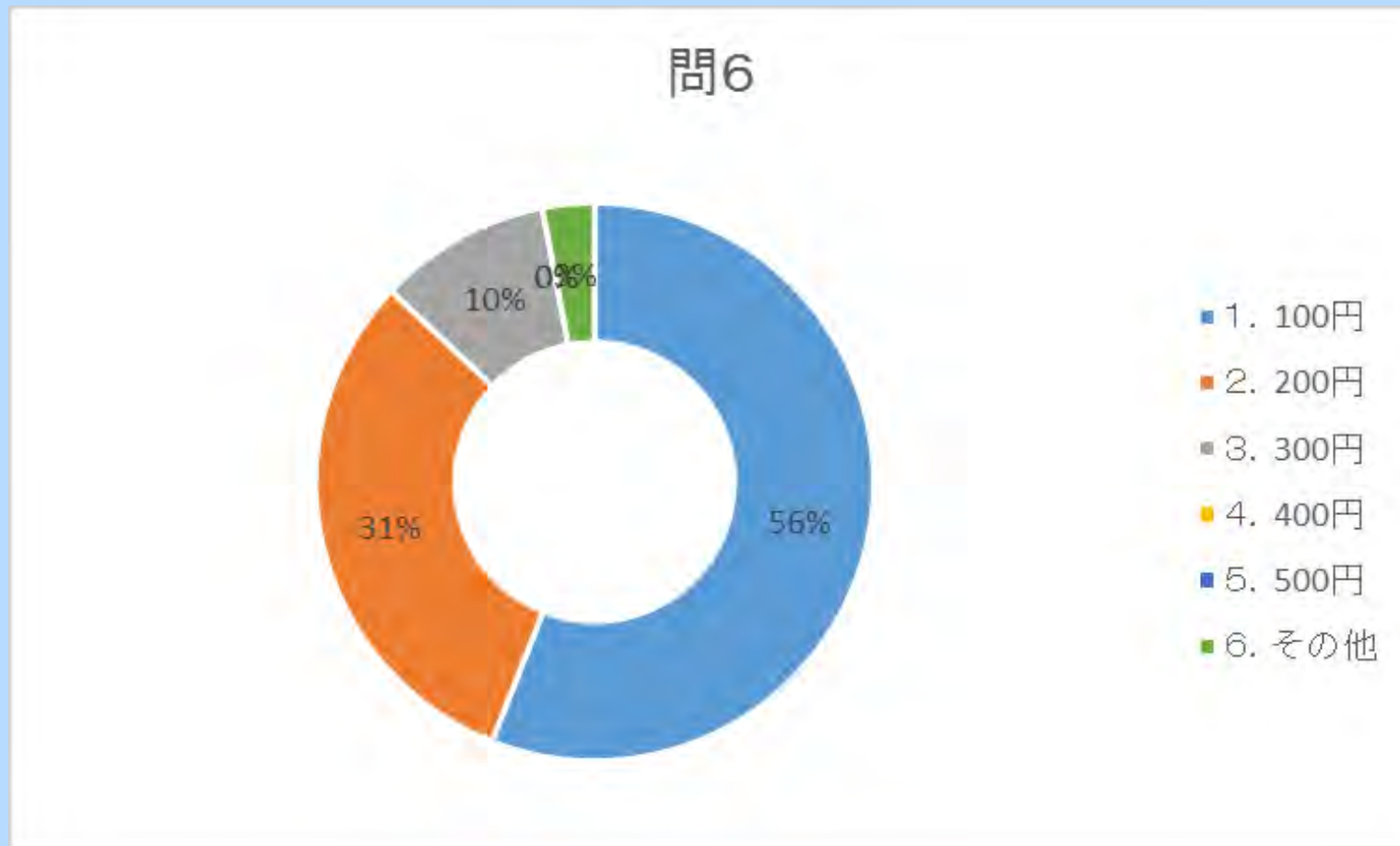
《参加人数》

40名 スタンダードコース34名
 ビギナーコース6名



問6 本日体験したプログラムを道の駅で販売するとしたら、いくらであれば参加したいですか？
あてはまる番号1つに○印をつけてください。 ※ソフトクリーム代を除く

1. 100円 2. 200円 3. 300円 4. 400円 5. 500円 6. その他 (円)



(5)道の駅でのプログラム販売に向けて

《商品としてのまち歩きビンゴ》

- ・道の駅観光案内窓口にて販売
- ・運営がしやすいようにパック化
- ・第1回、第2回の総まとめとして2コース提案

コース①	コース②
3×3マス	5×5マス
200円	500円
有料施設(団体割引) 含まない	有料施設(団体割引) 含む

《まち歩きビンゴ商品化コンセプト》

- ①既存の観光施設やマップを活用した地域資源のさらなる活用
- ②甘楽町での滞在時間を延ばすツール
- ③観光振興の起点となる道の駅から出発することで、
観光案内窓口としての役割強化
- ④観光情報の発信を促進、町域資源をつなぐ周遊ルートの整備
- ⑤地域住民との交流の機会を創出し、まちぐるみでの取り組みへ

〔2〕女子大生プロデュースお弁当企画



《経緯》

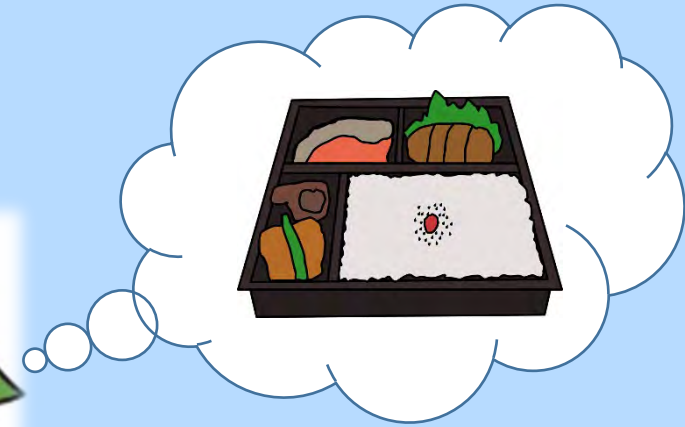
上里サービスエリアにて「ぐんまちゃん弁当」を発見



甘楽町でも同じようにかんらちゃんを使って新しいこと
できるのではないか

《目的》

- ・さらなるお弁当の売り上げの期待
- ・かんらちゃんの認知度アップ



《提案内容》

- ・道の駅にもともとあるメニューで組み合わせを考案
- ・女性向けのメニュー
- ・甘楽町の特産品が入るお弁当



《結果》

現在、道の駅にて『かんらちゃん弁当』を販売中



540円(税込み)

- ・キビ入りご飯と梅干
- ・ほるもん揚げ(ちくわの揚げ物)
- ・鶏の唐揚げ
- ・味付け玉子
- ・こんにゃくピリ辛煮
- ・スパゲティー
(地元メーカーパスタと地元産「轟みそ」ソース使用)
- ・野沢菜漬け(野沢菜温泉村との「嫁入り里帰り」)

2016/11/10

[3]観光まちづくりコンシェルジュのための研究

《保田小学校の取材》

道の駅 保田小学校 へ取材に行き、駅長の大塚さんへのインタビュー

《内容》

- ・立地の良さから、『都市交流施設』としての機能
- ・宿泊施設で周辺観光の拠点としての役割
- ・長期的には地元の方をターゲットとし、リピーターを増やす戦略

※群馬県まちづくり情報誌「お～まっちい」に寄稿



◆感想・まとめ

- 第1回まち歩きビンゴ大会と比べて、第2回は集客が少なかつたものの、商品化の向けての貴重な意見がいただけた
- おとなと学生の時間の感覚の違いを実感... (お弁当事件)
- 大下教授の信条の元、『学生時代に失敗をたくさんしよう』の精神で、学生発意で様々なことに挑戦
⇒ たくさんの失敗をしました...
- 保田小学校の取材で人気の理由を発見
⇒ 後輩への受け継ぎ